

## 令和4年度第1回廃棄物減量等推進審議会（会議概要）

令和4年8月24日（水）  
鶴岡市ごみ焼却施設研修室

（午後1時30分）

### 1. 開 会（本間廃棄物対策課長）

### 2. 委嘱状交付

委員15名に対し鶴岡市廃棄物減量等推進審議会委員委嘱状を交付。

新型コロナウイルス感染症の関係から事前に委員の席に配布。

任期は、令和4年8月24日から令和6年8月23日までの2か年。

### 3. 主催者挨拶（伊藤市民部長）

（審議会成立）

委員18名のうち現在15名の出席で委員の半数以上が出席しており、鶴岡市廃棄物減量等推進審議会条例第6条第2項の規定により会議開催が成立。

### 4. 委員紹介並びに事務局紹介（自己紹介）

### 5. 会長、副会長選任

鶴岡市廃棄物減量等推進審議会条例第5条の規定により委員互選。

選出について委員に伺ったところ「事務局一任」の声があったため、会長に小谷卓委員、副会長に新しく尾川勝則委員にお願いする旨事務局案を提示し、承認を得る。

### 6. 会長、副会長挨拶

### 7. 議 事（午後1時27分）

審議会第6条第1項により、会議の議長を会長とする。

- （1）令和3年度鶴岡市一般廃棄物処理の実績について  
資料に基づき事務局説明

## <質疑応答>

### 【委員】

10ページの高齢化等への対応について、ごみステーションに出せないと言う人が増えてきたので、具体的に市としてどのように考えているのか。

### 【事務局】

市でもごみ出しが難しくなっている高齢者等が発生しているのではないかと、今後

ますます増えていくのではないかとということを懸念している。

昨年度ケアマネジャー、地域包括支援センターの職員にアンケート等を行った結果、サービスをうまく使えないパターンもそれほど多くの人数ではないがいた。

今後市でどのようなことが出来るかについて、廃棄物対策課だけでは解決出来ない課題であるため健康福祉部と連携を図りながら今年度課題を詰めていくための準備をしている。まだ、具体的に何を実施するということころまでは決めていないが、庁内で関係する部署と連絡協議を進めたい。

#### 【委員】

外郭団体から助けてもらいたい。ごみを出せないがどうすればいいのだと全て民生委員に電話がいつてしまう。早めに具体策を出してもらえると助かる。民生委員になる人がいなくなると困る。

#### 【委員】

子供会で段ボールや空き瓶などいろいろな回収をしているがその活動はリサイクルの率には入っていないのか。

#### 【事務局】

町内会等での資源回収の量も把握しておりその部分もカウントされてのリサイクル率である。

#### 【委員】

高齢者の場合、ごみ焼却施設や羽黒老人福祉センターに持って行くわけにもいかずその辺りをどうなのか思っていた。例えばプラスチックだとヤマザワなどの店に持って行き回収するわけだが、そういうものをもっと多くすればリサイクル率が上がるかなと思っていたがどうなのか。

#### 【事務局】

店頭回収は市のリサイクル率に反映しないが、例えばヤマザワでリサイクルをしているがそこからこちらに欲しいということではないので、リサイクルに是非務めていただければありがたい。

自治会で資源回収をやっていればご活用いただければありがたい。

#### 【委員】

11 ページに不法投棄があるが、これは犯罪に当たるので警察に通報したことがあるのかどうか、また、どういった内容が多いのか細かく知りたい。

#### 【事務局】

市には、不法投棄通報ネットワークがあり不法投棄を発見したら市に連絡をいただいている。本来は、不法投棄した人が片付けなければいけないものではあるが、なかなか特定ができないため、土地の所有者、市道であれば道路管理者がその撤去等をするという状況にある。関連するところに市で連絡して対処してもらっている状況にある。

あまりにもひどいもの、度々あるもの、もしくは事業主がやっていると思われるものについては、庄内総合支庁の環境課とも協力しながら、場合によっては警察に

も通報しながら対処している。

最初に言ったように、なかなか行為者を特定できないというところが歯がゆいところではあるが、そのような形で取り組みを行っているところで、皆さんのところでももし見かけたら、市にご連絡いただきたい。

委員；齋藤委員

説明の2ページで、当初鶴岡市の1人当たりの一日のごみの量が国県より大きいと、量が多いという説明があったが、なかなか答えの出ないような難しい課題だと思う。先ほど可燃物の中身について少しほり起こして調査するとあったが、まず想定される要因はおさえているのか。国県より高いと考えられる鶴岡市の要因は何か。

### 【事務局】

具体的には開けてみないとわからないこともあるので、今年度ごみステーションからサンプルを回収し中身の分析を行う。夏の分は分析を行った。

冬はごみの性質が変わってくるので、冬ももう一度実施しようとして計画している。色々な資料で、例えば全国と比べてやっぱり人口密度の高いところは意外と一人当たりが少ないということもあるようだ。

また、大都会であれば、住まいが小さいとか或いは身近に外食などができる環境が整っているとか、いろいろな要因で一般的に家庭からごみが出にくいという感じはある。

ただ、鶴岡が県内の平均より高いということもあり、一因として庄内地域を除いた県内の内陸地方についてはごみ袋を有料化しており、ごみ処理料金にプラスされている。鶴岡は10枚100円前後でごみ袋を販売しているが、二倍だとか三倍、五倍くらいの値段で販売している。これはごみ処理する料金も含めてということで設計されている。

鶴岡市の場合は、基本的にはごみ袋そのものの値段で買ってもらっているが、ごみ処理の費用も上乗せし、ごみをいっぱい出す人が沢山負担するということがごみを出す人と出さない人とである程度不公平感をなくすのだということもあり、そのような取り組みが行われている。ごみ袋の値段を上げることでごみの量が減るということで取り組んだ前後で違いがあるようなので、県内の平均よりも鶴岡市が高くなっているのかなというところは想像をしている。

具体的には組成分析をやってみて、他市でも組成分析をやっているところがあるので比べながら、鶴岡市のごみの特徴をつかんでいきたいと考えている。

### 【委員】

結果が出てからの回答になるが、なかなか難しい部分で住民一人一人の意識改革が一番基本的なこととなる。私も去年この立場になって、鶴岡のごみは量がいっぱいなのかと、はじめて知ったくらいなので、もう少しその辺の啓蒙活動も徹底してほしい。

### 【委員】

鶴岡市のごみの量は減ってはきているが、全県的に見るとまだまだちょっと下の方だ。県の循環型社会白書で、一般廃棄物も事業所から出る産業廃棄物も含めてであるがごみの処理状況を毎年まとめて公表している。本編40ページぐらいあるので、一番関心がありそうなところの1ページを抜粋して、コピーをお持ちした。表が三

つ並んでいるが、一番左側の表が 1 人 1 日当たりのごみの排出量で、令和 2 年度の実績で 1 年古くて申しわけないが、県内 35 市町村を排出量の順で並べ替えしたもの。鶴岡市は 31 位ということで県内でも多い方になる。次に真ん中の表は、1 人 1 日当たりの家庭系ごみ排出量で、家庭から出る分だけ、事業所から出る廃棄物、資源でリサイクルに回る分を除いた 1 人 1 日当たりに直した排出量の順で並び替えしたものになる。こちらも鶴岡市は 30 位ということで、県内でも多い方だ。

よく見ると、どうしても庄内地区が下の方に来て、鶴岡市だけが多いわけではなくて、遊佐、鶴岡と真室川、中山、三川、酒田、庄内と庄内地域が下の方にまとまっている。要因は詳細分析しておらず、これが原因ですということではないが、先ほど事務局からもあったように、分析しているということなので、その辺でやっていく。

その結果を見て、排出ごみの成分の多いものを重点的に対応していくとか、今日は資料を持ってこなかったが確か昔のデータだと紙ごみが少し多かったような記憶がある。あとは剪定枝の関係、その辺りが鶴岡市が多かったという記憶がある。それをどうするか。

また、今有料化の議論があったが、説明にあったように有料化していないのは庄内地区だけで内陸の方、最上・村山・置賜は有料化している。有料化については賛否両論があり、税金を使っているのだからという、不公平だというのがあがるが、逆に税金を使っているのだからということで、賛否両論ある。

有料化すると一時的には当然ごみ袋 1 枚何十円かかるので、経済的な観念でごみを減らそうという意識が働き、導入後は一旦ストンと排出量は減るのがほぼ間違いないが、これもだんだん慣れてきて、大体リバウンドとして戻るところが多い。決定打にはちょっとならないかなという認識でいる。

ただ、例えば、有料化で 200 グラム減って、リバウンドで 100 グラム戻ったとしても、実際 100 グラム減ったということであれば有料化を導入するメリットはなくなると思う。あとはごみ質を見て分別の区分を徹底する。将来的にちょっと長い目で見て対応を考えていければと思う。

### 【事務局】

最初説明した通り、鶴岡市はごみの排出量が多いので、減量に向けて何にターゲットを絞っていくかが重要で今年度の分析を進めていきたい。

### 【委員】

私から一つ、鶴岡は特に夏になるとだだちゃ豆などの枝などがもやすごみに入ってきているのではないかと、或いはカキの貝殻とかスイカの皮とか、重量がかなり多いものが季節的によって増えているのではないかと、平常の月よりも夏の時期にごみが重さを増していることになっているのかどうかというようなことを、私はだだちゃ豆の枝は、買ってきてそれが普通にもやすごみに入るならば相当の量だろうなというような。

ぜひ今回実行するごみの調査も季節的にそういう変化があるのか無いのかを重点的に見ていただけたらいいと思う。

## (2) 令和 4 年度一般廃棄物行政の事業執行について (午後 2 時 5 分)

資料に基づき事務局説明

### 【委員】

ご報告の中で2ページのごみゼロ大作戦、当湯野浜地区の海岸を実施されたということで、まずもって感謝申し上げます。子供たちの学校がすぐ近くなので、大変いい機会を得たなと勉強になったと思う。

実態については、印刷にあるように、ハングル文字の印刷されているものが多いし、中国語のプラスチックごみがかなり多く、川とかそういったところよりも対岸の方から流出していることが多いと思った。また、砂の下に隠れている漁業関係のロープとか、かなり多くあると思う。それは氷山の一角なのだろうと思う。

また、観光地なので、率先してごみを拾いにきてくれる方が多いが、それをどこに捨てたらいいかわからないといった意見もある。進んでごみを拾ってくれる方のごみの収集場所みたいなものを考えたらいいかかなと感じる。また、私共でも毎年海岸の一斉清掃を行っているが、是非来年度も実施していただければと思っている。

### 【委員】

ごみゼロ大作戦について、こんな折角いい企画をもっている所以对象を湯野浜小学校だけでなく、教育委員会を通してある程度全学校に紹介するとか、6年までではなく1学年だけを決定して人を集めたりして、もっと広くやってもいい企画だと思う。

特にSDGsに対しては、各小学校でも教えているはずなので、本当にこんないい機会をもったいないなと思う。

### 【事務局】

ごみを拾ってくれる方のご協力というのは我々もたくさんのご協力が必要だなということは感じている。

まずは、海に直接出る前のどこかでポイ捨てになっているとか道端にある、そういったものが河川を通じて海に流れ出ているというのが多いということが全国的にいられている。鶴岡市、三川町を通っていく赤川の河口が酒田市にあるが、かなりのごみが漂着しているということがある。酒田市なので、我々が直接見る機会は少ないが、地域のどこかで捨てられたごみや散乱したごみが流れ着いているということがあり、そういったところに市民の方から海に流れ出る前に拾っていただくクリーン作戦が重要だと思っている。今現在団体での取組みをお願いしているが、個人での取組みも行ってもらえるような方策も検討して参りたい。

### 【委員】

4年度について、参考になるかわからないが、先ほど10ページの高齢化等への対応で話があったが、当地区での事例を少しお話させていただきたい。

当地区でもやはり高齢化、それから一人暮らしの障害のお持ちの方、なかなかごみステーションまでごみを持ち運べないといったご相談があり、福祉関係の方とご相談したわけなのだが、やはりそういった方には訪問介護とか包括の方もお世話をしている。訪れる曜日がごみの収集日と重なればいいが、違っているとなかなか難しいという相談があり、ごみステーションの近くのわりとお世話していただく方の近所に一旦保管場所をカギ付きで作った。ごみステーションまで協力してくれる方が自宅のごみとお預かりしたごみをステーションまで持つていくことを3年くらい

続けた。現在その方は福祉施設に移動したが、やっぱり町内の協力も必要だが、一旦保管するような場所、ごみでもその方の財産ということでカギ付きのごみ箱みたいなものを作って置ければいいのかと。そんなふうに思っていた。

あともう一つは、ごみステーションの付近の不法投棄がかなり問題になり、相談した結果ごみステーションのすぐ両脇にプランターで花を植栽した。よく警察に苦情が入って警察の方も困っており、町内でそのプランターの両脇に2個ずつ、計4個を試しに植栽したところ、なんと苦情がゼロになりすごく素晴らしいなど実感したところでした。やはりごみステーションの周辺の環境も大事だなと実感したのでご紹介をさせていただいた。

#### 【事務局】

今菅原委員からご紹介いただいた2件、どちらも大変参考になる事例をご紹介いただいた。まずは動き出しの町内会での支え合いという事例も今後の市役所内で参考として生かしていきたいと思う。

ごみステーションの周りの環境美化、プランターを置くという方法で不法投棄が減ったということは今回私もはじめてお聴きしたところで、是非同様に困っているところがあれば、環境保全推進ということ、各地域からごみステーションの管理等をお願いしている方、委嘱している方がいるので、情報提供出来ればなど思った次第である。どうもありがとうございました。

#### 【委員】

ごみステーションの点だが、各町でいろいろ設置はしている。例えば網のところもあるし、木だけで作ったようなものもあるし、鉄で作られた立派なものもある。環境的にも本来であれば、統一化されたものであれば、鶴岡市としても、美化活動に繋がるので、決まったものを各町内にある程度の助成金を出して、揃えてくださいというような格好にした方が美しいと思うがどうか。

#### 【事務局】

ごみステーションに対する設置の補助的なもの、今現在はそれに特化した形ではないが、各町内会の総合交付金の中でお願いしている。それぞれの町内会の実情に応じた設置になっている。まだ、統一したというところまでは、市のほうで進めていないので、意見を参考にしたい。

#### 【委員】

岡山の最終処理場のところに二十何年前か行ったことがある。あの頃はそんなにおおっぴらに見せるのではなく、最初は駄目だいわれたが見せてもらった。ごみの最終的なものは埋めるしかないのだと見てきた。ネットのようなものが張ってあって煙突もたっていてガス抜きみないなのもあったしすごく印象的だった。

新しくなった施設やリサイクルプラザの見学に行く人がいるが、最終処分場までは見るのはなかなか無いような気がするので、ぜひここだけではなく最終処分場を見せてもらい、最後にごみはこうなるのだと、もうどうしようもないものは土に返すしかない、土には帰らないけどもなるべくごみを捨てないようにごみを出さないようにしようというくらいでどうだろうか。結局そういう感じで地球をよごすとい

うか土壌をよごしてしまうことが多くなるのではないかと思う。是非見学をするときは、最終処分場も見てくれといえるくらいだったらいいかなと思う。

#### 【事務局】

岡山の最終処分場については、当初の予定数量が入ったので、今、埋立てが終了し、ごみに染み込んだ雨水処理を続けているが、雨水の浸透を少なくするためにキャッピング工事を行っていく。それに代わって、新しい最終処分場が今年の10月から由良坂の手前あたりに出来ている。そこに埋め立てしているものは、ごみ焼却施設で燃やし燃え残った灰を持っていく。あと、もう一つはリサイクルプラザに集めたもやすごみ以外のごみの中から資源化できるものを取り除いて、残ったものの内燃えるものについてはもう一度ごみ焼却施設に持ってきて燃やして灰にしている。最初からリサイクル出来ないような例えばセトモノだとかはリサイクルプラザから最終処分場に運んでいる。可能な限りリサイクルを進める。残ったものを焼却してごみを少なくした後最終処分場に埋立てしている。委員からお話があったように、このごみ焼却施設とか水沢にあるリサイクルプラザは最初から市民の方に見学してもらいながら、ごみ減量などの理解を深めていただくための見学するための施設として作ったところだが、最終処分場については、なかなか見学施設として最初から整備をしてないので、いつでも誰でも来てくださいという施設にはなっていないためなかなかそこまで行かれる機会も少ないと思う。

他の施設の中にも最終処分場はこのようなことをやっているというポスターを張ったりはしているが、先ほどあったように三施設回ってもらうような見学会等色々な機会を通じて、ごみの最後の処理についても市民の理解を得ながら、出来るだけごみの減量、リサイクルに協力していただけるような広報に努めたいと思う。

## 8. その他

環境フェアつるおか 2022 の説明。

## 9. 閉 会